

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 1 区分
 【発行日】平成 17 年 5 月 26 日 (2005.5.26)

【公開番号】特開 2004-211713 (P2004-211713A)
 【公開日】平成 16 年 7 月 29 日 (2004.7.29)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-029
 【出願番号】特願 2004-128001 (P2004-128001)
 【国際特許分類第 7 版】

F 0 2 D 9/10
 F 0 2 D 9/00
 F 0 2 D 9/02
 F 0 2 D 11/10
 F 0 2 D 35/00

【F I】

F 0 2 D 9/10 H
 F 0 2 D 9/00 A
 F 0 2 D 9/02 3 5 1 M
 F 0 2 D 11/10 E
 F 0 2 D 35/00 3 6 4 G

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 6 月 17 日 (2004.6.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

吸気通路を横切り回動可能に設けられたスロットルシャフトをギアを介してモータにより回動駆動し、該スロットルシャフトに固定されたスロットルバルブの開閉により吸入空気を制御する内燃機関のスロットル制御装置において、

前記スロットルバルブの開度を検出するために、センサ基板とブラシとを備えるセンサ部を有し、

前記ブラシを、カバーに形成された挿通孔から突き出た前記スロットルシャフトの外端部に嵌合させたブラシレバーに一体的に固着して、

前記センサ部を、前記カバーの外側に前記カバーとプレートとで形成したセンサ室内に収容したことを特徴とする内燃機関のスロットル制御装置。

【請求項 2】

前記ブラシを、前記ブラシレバーの外側に外方に向けて固定した請求項 1 記載の内燃機関のスロットル制御装置。

【請求項 3】

前記センサ基板を、前記カバーと前記プレートとで挟持して固定した請求項 1 又は請求項 2 記載の内燃機関のスロットル制御装置。

【請求項 4】

前記センサ基板を、前記カバーに形成された段差に当接させて位置決めする請求項 3 記載の内燃機関のスロットル制御装置。

【請求項 5】

前記ブラシレバーの前記スロットルシャフト外端部との嵌合部分を逃がすための逃がし

孔を前記センサ基板に形成した請求項 1 乃至請求項 4 のいずれかに記載の内燃機関のスロットル制御装置。